

ファミリーキャンプ ～防災要素を含む生活体験～

南薩少年自然の家

家族で楽しい時間を過ごしながらか、 防災を身近に感じた2日間！

「ファミリーキャンプ～防災要素を含む生活体験～」は、家族で炊飯体験やテントでの生活を楽しむことで、家族の絆を深めつつ、災害時の備えや行動を学びながら防災について考える事業です。

当日は、台風が接近していたため、時間を短縮し、内容を一部変更して実施しました。

「ファミリーキャンプを楽しもう！」

やってみよう！「テント設営」

午後からの天候判断で、プレイホールにテントを張るインナーテント設営となりました。一人でポールを立てたり、シートを広げたりする作業は難しいですが、家族で力を合わせることで、あっという間にテントが完成しました。このテント設営を通して、家族で協力することの大切さや心地よさを味わうことができました。



【家族でテント設営】

作ってみよう！「飯ごう炊き込みご飯」

家族で炊き込みご飯作りにチャレンジしました。食材は、鮭の切り身にちりめんじゃこ、肉団子にフライドチキン、厚揚げ、ネギ、大葉、えのき茸で、これらの中から3種類食材を選ぶ食材獲得ゲームを行いました。何を調達できるかによって味も変わってくることから、ゲームは大いに盛り上がりました。限られた食材や調味料をどのように組み合わせたらよいか家族で相談しながら、楽しく調理する姿が見られました。また、飯ごうを初めて使う参加者も多く、水の量や火加減などに気を付けながら調理していました。



【炊き込みご飯作りにチャレンジ】

「防災について考えよう！」

何が必要？「非常時持ち出しリスト作り」

無人島から生還するために必要なものを考える活動「無人島SOS」。この活動を通して、一人一人の価値観が異なることに気付きました。その後、家族で知恵を出し合い、非常時に必要な持ち出しリストを作成しました。家族ごとに必要な物が違うことや意外な物が役立つことなどに気付くことができました。



【持ち出しリスト作り】

防災グッズの紹介

南さつま市から借用したパーテーションやベッド等の防災グッズや非常持ち出し袋などの実物に触れることにより、さらに防災意識を高めることができました。



【防災グッズの展示】

どんな味かな？「非常食体験」

2日目の朝食は非常食を体験し、アルファ化米や缶詰に入ったパンを食べました。また、熱に強いポリ袋を使って湯煎したご飯も試食しました。途中、子どもたちが一列に並んで行った、非常食配りは、避難所生活の模擬体験となりました。



【非常食を配る子どもたち】

参加者の感想

- 自然の中での飯ごう炊飯は、とても新鮮で楽しかったです。
- 日常のありがたみを感じる体験ができました。
- 非常持ち出しリュックを作ろうという気持ちになりました。
- これまで、非常食を食べたことがなかったのですが、美味しくてびっくりしました。